



株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	毎年3月31日
配当金受領 株主確定日	期末配当 毎年3月31日 (中間配当を行う場合は、毎年9月30日)
1単元の株式数	100株
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話0120-232-7111(通話料無料)
上場取引所	東京証券取引所市場第一部(証券コード:6287)

(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。
口座を開設されている証券会社等にお問合せください。
- 【特別口座】に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



株主優待制度

株主の皆様に対して積極的に利益還元を行うため、年2回(3月、9月決算時)株主優待制度を実施しております。
100株以上ご所有の株主様に1,000円分の図書カード(通期で計2,000円分)をお送りしております。



サトーの株主優待「オリジナル図書カード」



サトーをより良くご理解いただくために

株主の皆様へのご報告



第61期 報告書

平成22年4月1日～平成23年3月31日





株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたびの東日本大震災により被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。皆様の安全と被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

ここに当社第61期（平成22年4月1日～平成23年3月31日）の報告書をお届け申し上げます。

当社は、流通から製造、食品、医療、運輸など社会のあらゆる現場で「正確・省力・省資源」を実現し、世界社会に貢献することを経営理念としております。

「収益力を伴った成長企業」を目指し強固な企業体質を構築できるよう、独自のビジネスモデルである「DCS & Labeling（データ・コレクション・システムズ・アンド・ラベリング）」を世界各国で展開することに全力を挙げております。

当期におきましては、国内外で様々な営業施策を推進するとともに、生産性の向上及び製造コストの低減、各種経費節減への取り組みを実施してきたことにより、収益構造は着実に改善いたしました。中期経営計画の最終年度である2012年度には、過去最高の営業利益を是非とも更新したいと考えております。

今後も、株主の皆様のご期待に沿えるよう努力してまいりますので、何卒格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役執行役員社長兼最高経営責任者

西田 浩一



東日本大震災の影響と今後の見通し

■被災状況

人的被害はなく、営業拠点（仙台・郡山・盛岡）、生産拠点（北上）の影響は軽微でした。

ラベル工場は震災2日後には生産を開始、原材料調達を含め、生産供給体制における支障はありません。

■業績影響

3月度は被災地域を中心に、売上で約5億円の影響を受けましたものの、全社を挙げて不要不急の経費を抑制し、営業利益は1億円弱の減少にとどまりました。

在庫の破損や救援活動による特別損失を21百万円計上しております。

■今後の見通し

一部に製造業の生産縮小、消費減速などに伴うサプライ需要減や、メカトロ商談の延期などがあり、売上にも若干の影響が出ると捉えております。

しかしサトーの事業は、復興に向けて取り組む多くの企業をお手伝いできるものであり、複数社からの調達等、リスク分散に取り組む企業からの新たな需要も期待できます。製造・配送・販売というサプライチェーンにおいて、当社ならではの自動認識技術の提案を行い、復興支援のお手伝いに尽力してまいります。

また、各市場の特性を捉えた営業活動を一層強化し、国内事業における増収増益を目指します。加えて高成長の続く中国を中心としたアジア市場への展開スピードを加速させ、業績向上につとめてまいります。



◇小さな変化を積み重ね、収益力のある企業を目指して…

サトーは小さな変化を実現する独自の企業文化と優れた製品・技術・サービスに基づく提案力により、全世界のお客様の事業活動を支援していきます。



「お客様に信頼され、選ばれる会社」として世界No.1の自動認識技術総合メーカーを目指します。

国内におきましては、営業力の一層の強化を目指して当期初より導入した市場別事業部制が定着してきたことにより、新市場、新規用途商談が活発化するなどその成果が出てまいりました。引き続き堅調なサプライ製品売上が過去最高を記録したほか、メカトロ製品についても製造業を中心に主力の電子プリンタの回復傾向が明確なものとなりました。

海外では、米州においてOEM商談が順調に拡大しており、大手小売業向けに値下げ管理システム商談や、食材の消費期限管理システム商談が進行中で今後の売

上拡大を見込んでおります。また、アパレル向け受託サービスの来期本格展開や南米への拠点展開に向けた先行投資がありました。欧州では、代理店ネットワークの拡充による販路開拓や、小口のリピート顧客の囲い込み、保守サービスへの注力により売上拡大をはかっております。アジア・オセアニアでは、各国で製造業、大手流通業、公共プロジェクトなどの需要増があり業績を牽引しました。中国では進出している日本企業に対する商談も活発化していることから、日本からの支援を強化しております。

グループの総力を挙げ各地域で生産性の向上及び製造コストの低減、各種経費節減への取り組みを実施してきたことで、収益構造は着実に改善してまいりました。国内では売上増とコスト低減への取り組み、販管費の効率的な執行を徹底したことにより、計画を上回る利益を確保したほか、海外においてもアジア・オセアニア地域の売上増に伴う利益増のほか、欧州地域での構造改革の進展により、海外事業の採算を大きく改善することができました。

(次期の見通し)

国内市場においては、「東日本大震災」や電力不足の影響が見込まれるものの、当社は引き続き市場別事業部制を中心とした新規需要の取り込み及びコスト低減に取り組み、増収増益を目指してまいります。

海外市場におきましても、黒字化を目指す欧州市場に対し、日本人営業、サービス担当者を送り込んで、各国、各市場毎にさらなる市場深耕への取り組みを強化いたします。また、成長著しいアジア及び南米を中心とした新興国での販売体制強化を急ぎ、売上増をはかってまいります。

■当期の連結業績

売上高	78,368百万円 (前期比 104.6%)
営業利益	4,226百万円 (前期比 164.2%)
当期純利益	503百万円 (前期比 64.4%)
配当金	34円 (記念配当1円含む) (中間期 16円)

■次期の見通し

売上高	82,000百万円 (前期比 104.6%)
営業利益	4,800百万円 (前期比 113.6%)
当期純利益	2,400百万円 (前期比 477.0%)
配当金	34円 (中間期 17円)

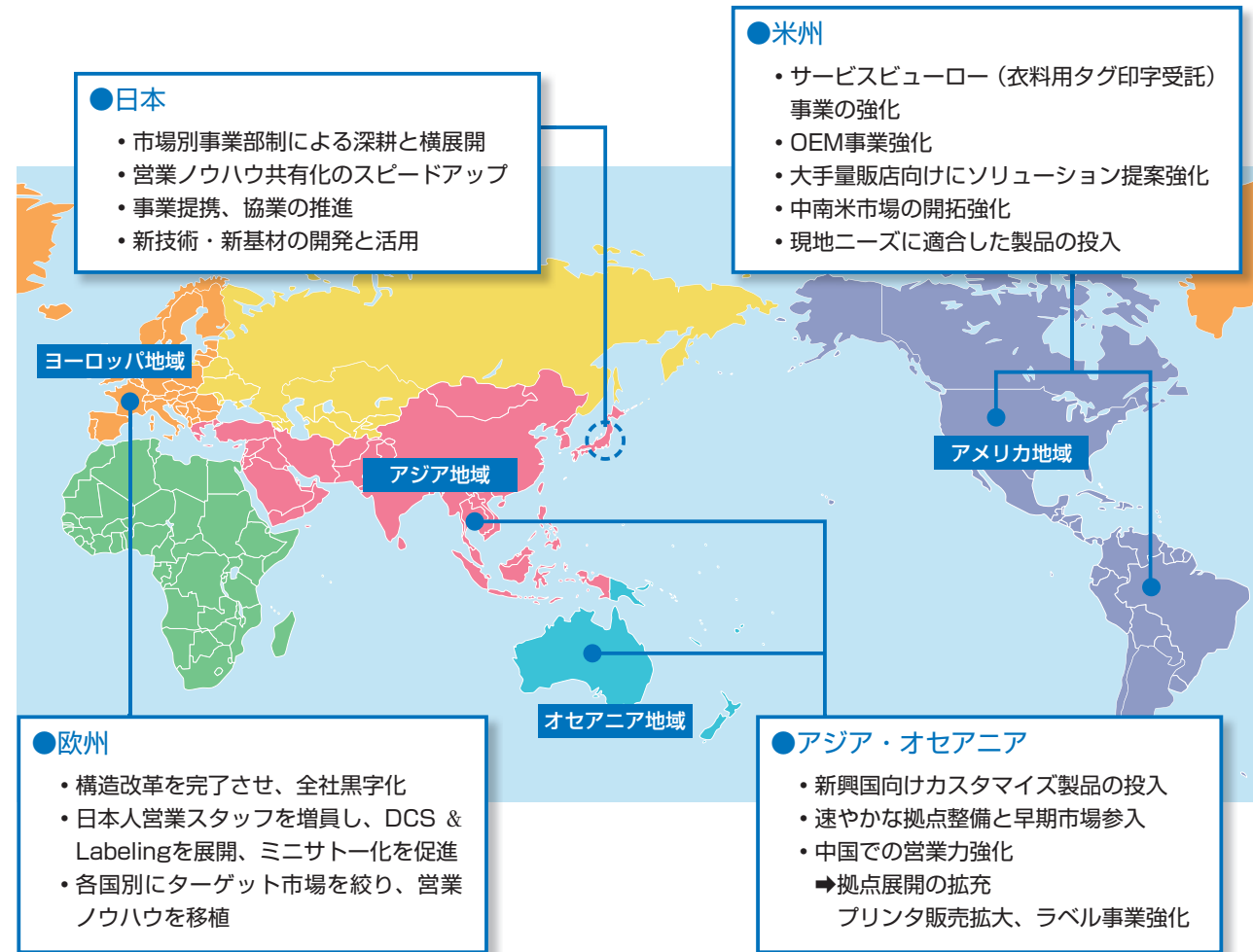
上記予想は現時点で入手可能な情報から得られた当社経営の判断に基づくものであり、実際の業績はこれら見通しと異なる可能性があります。



日本&海外地域別施策

日本市場では新分野・新用途開拓により、継続的な成長をはかってまいります。

海外市場のポテンシャルは日本の10倍以上あると見ており、日本事業で培ったノウハウの活用を徹底し、各国の特性に応じた取り組みを推進します。



会社分割による純粋持株会社制への移行について

<会社分割の目的>

(1) グループ全体の収益力・成長力の強化

サトーの強さの源泉は、創業の精神（社是）である「あくなき創造」と「変化」にあります。組織を再編成し、より現場に近いところに権限と責任を委ね専門性を追求することによって、この強さを今一度磨きあげます。国内事業の強化こそが、グローバル事業の拡大の基盤であり、グループ全体の成長を牽引すると考えております。

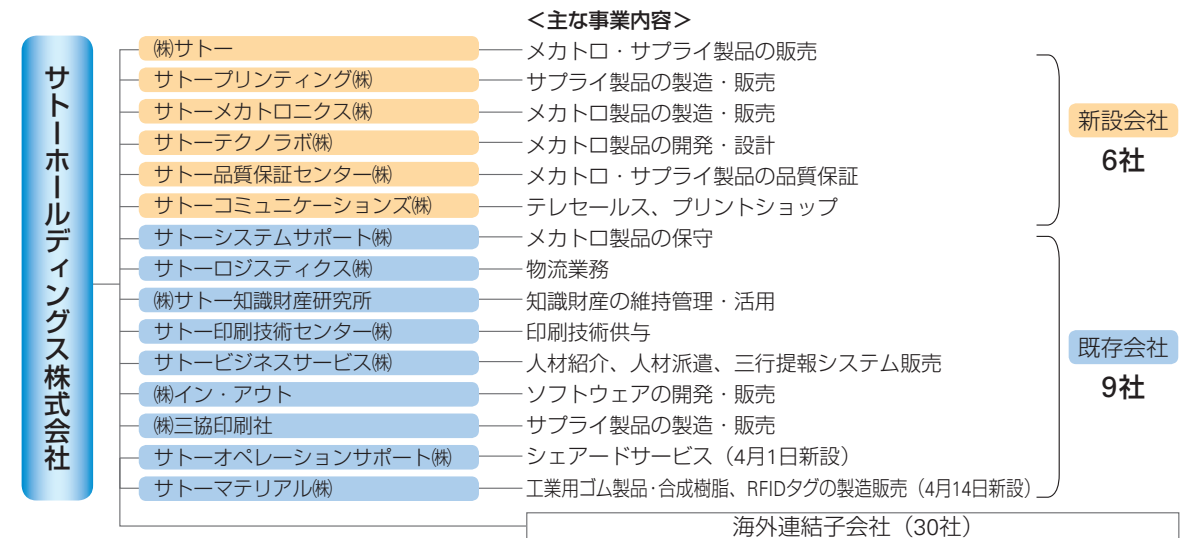
(2) イノベーションの促進と次世代経営人財の育成

グループを独立した小さな企業の集合体に再編成することによって、自由闊達で革新的な企業風土を強化します。各事業の経営を有為な人財に担わせることにより、次世代の経営人財を育成します。

(3) 成長事業・新規事業への積極投資

グループの企業価値をさらに向上するために、新たな成長分野に対して積極的にグループ経営資源の重点的且つ効率的な迅速投下を行います。

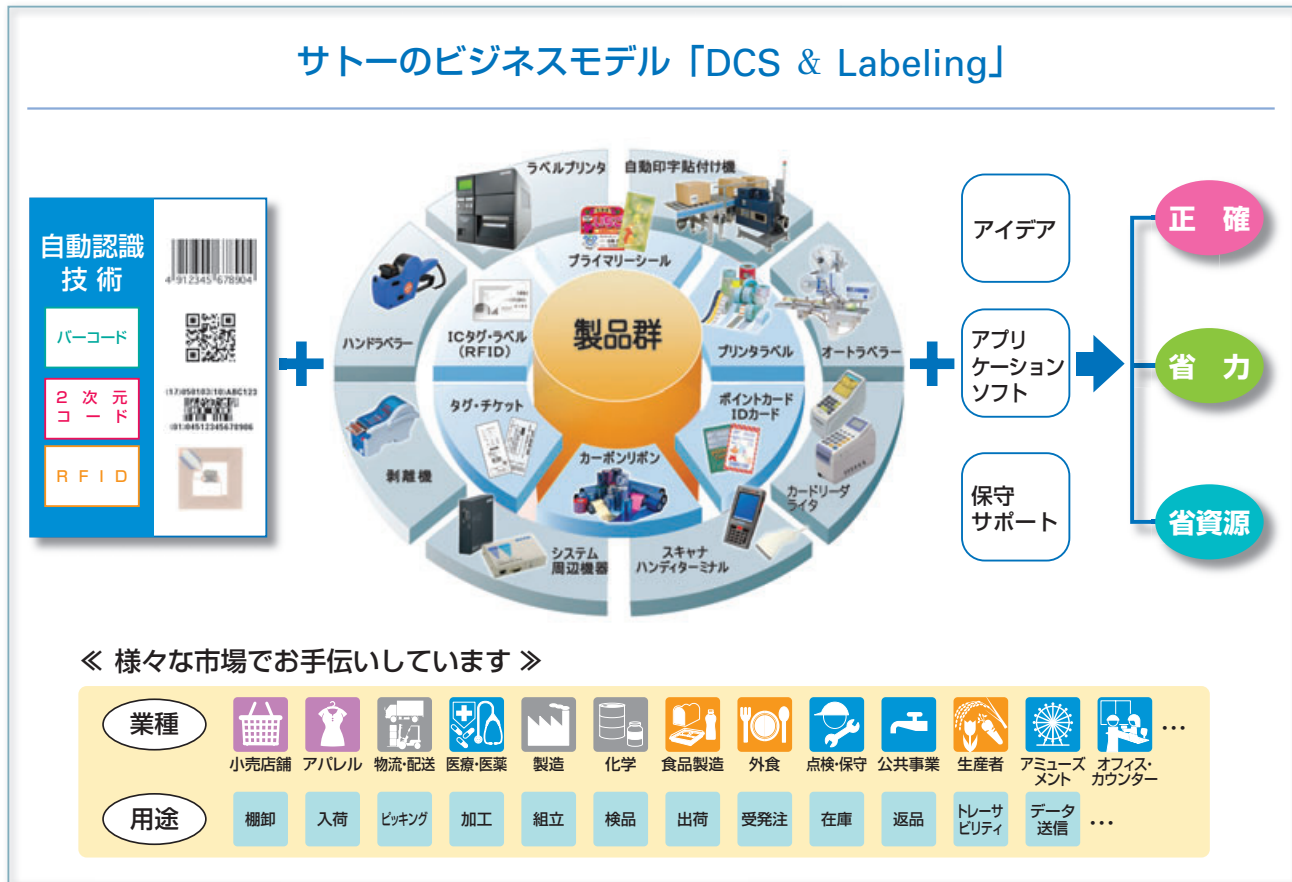
純粋持株会社制移行後の体制（2011年10月3日付）





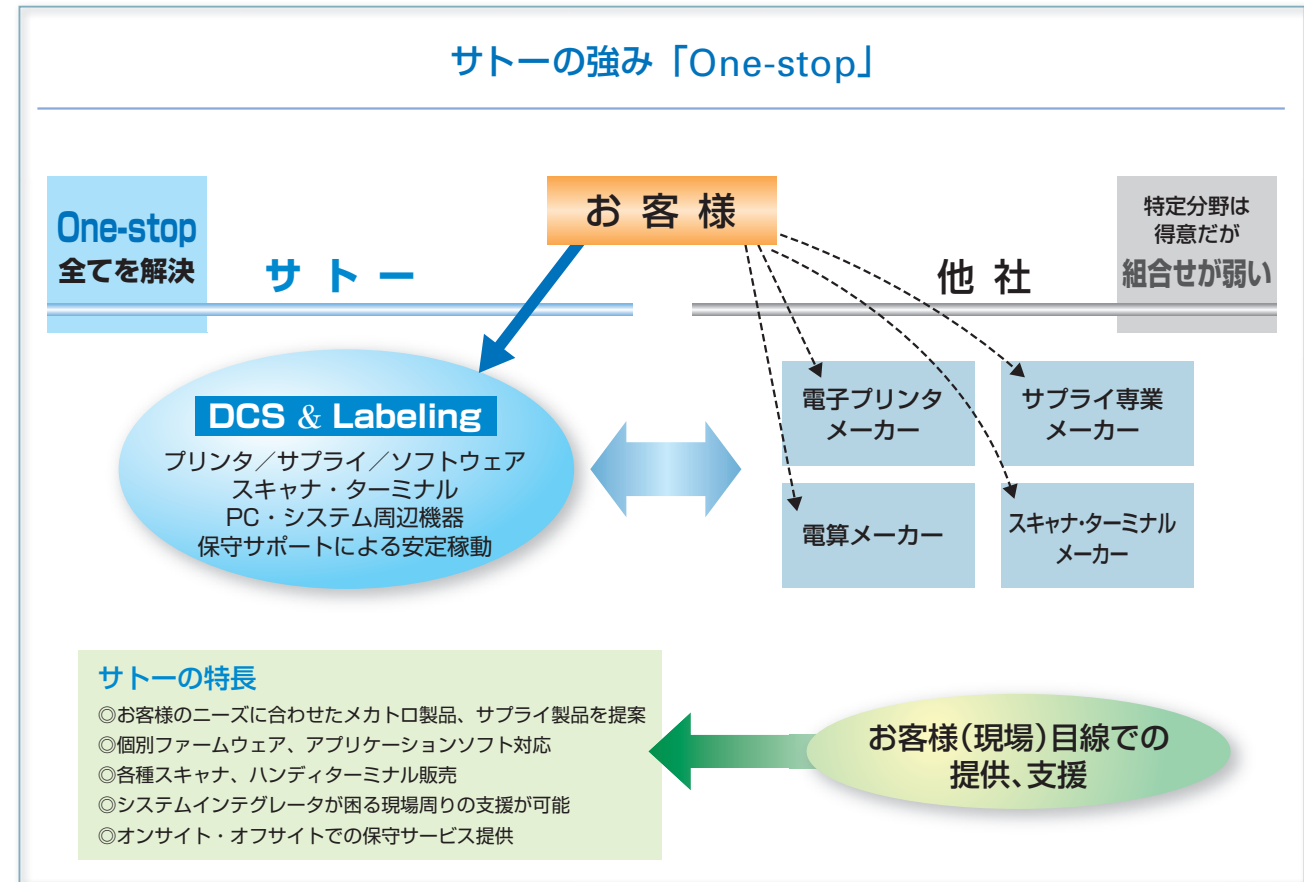
自動認識システムの総合メーカーとして社会に貢献します

バーコードや2次元コード、RFID（ICタグ・ラベル）などの自動認識技術とハードウェア、ソフトウェア、サプライ、保守サポートを組み合わせ、様々な市場で、トータル・ソリューションを提供して、「正確・省力・省資源」を実現します。—それがサトー独自のビジネスモデル、「DCS & Labeling」です。



お客様の必要なソリューションを「One-stop」で提供します

サトーにはお客様のご要望に応える様々な製品群と永年にわたる現場ソリューションノウハウの蓄積があります。ハードウェアやサプライの専門メーカーに比べ、「One-stop」で、速やかな課題解決ができる会社です。





世界初 焼却時にCO₂を吸収・削減するラベルを開発

～東京理科大発ベンチャーのアクティブと共同開発～

サトーは、このたび東京理科大学ベンチャーのアクティブ株式会社と共同で焼却時にCO₂を吸収・削減するラベルの開発に世界で初めて成功しました。

このラベルは、同大学の阿部正彦教授の研究グループが開発した「NVC（ナノベシクルカプセル）技術」により、「CO₂吸収材」を粘着剤に添加してラベル化したことで、焼却時にラベル自体のCO₂発生量を減らすだけでなく、周囲のCO₂も吸収します。

NVC化されたCO₂吸収材を粘着剤に使用したラベルは、添加していないラベルに比べ、焼却時に発生するCO₂を20%以上削減する効果があることが、同大学の分析で実証されました。

今後、サトーではこのCO₂吸収材を使用した粘着剤を、台紙のない「ノンセパ[®]」ラベルに応用し、商品化していきます。またシール・ラベル製品だけでなく、チケットやリストバンド、カーボン・リボンなどのサプライ製品全般に展開し環境保全製品の一層の充実をはかってまいります。

環境保全に貢献するシール ノンセパ[®]

ノンセパとは？ CO₂削減に貢献します。

- 製造工程の段階から台紙を使用しないシール・ラベルです。
- 廃棄物及び資源・原材料・燃料及びエネルギーの消費を削減、地球環境保全に寄与します。
- ISO14001をバックアップ！（規格要求事項である「環境方針」の中の「環境汚染の予防」に役立ちます。）



色の配列をコード化して識別する「カラービット」サトーが自動認識システムの新技術として販売開始

サトーは、このほど、色の配列をデータとして読み取る新しい自動認識技術「カラービット」を開発したビーコア社とライセンス契約を締結し、販売を開始しました。

カラービットは、RFIDと同様に一括読取りができる利点を持ちながら、ラベルプリンタでのカラー印字や印刷でデータ作成できるため、RFIDに比べ安価で確実な運用が期待できる新しい自動認識システムのシンボルです。



「カラービット」コード
※カラービットはビーコア株式会社の登録商標です。

サトーはカラービットの実用化運用提案に際して、書類ファイルの管理システムを開発しました。このシステムは、ファイルの背表紙に3色の直列で構成したカラービットラベルを貼り、デジタルカメラの画像で100冊以上のファイルを一括で読み取ると同時に、個々のファイル位置の特定を可能にするものです。これによりファイルの持ち出し、返却、棚卸し作業などを効率的に行うことができます。

今後、カラービットの特長を活かして、モノの移動、在庫管理などの運用で様々な業界に向けて自動認識システム提案を行ってまいります。

サトー本社移転時にも「カラービット」が活用されました。

昨年8月の本社を目黒に移転する際に、大量の引越荷物（書庫、ダンボールなど）の搬出から荷積み、荷降ろし、搬入時に、荷物に貼った「カラービット」を一括読取りすることで、移転作業の時間短縮に加え、移動時の荷物位置の確認など多くの成果をあげました。



◇サトーは本業を通して社会に貢献することを経営理念としています。



●「サトーの社会的存在への宣誓」

サトーのCSRは、「本業による社会貢献」の実践を旨としています。企業は社会環境とは無縁では存在できません。サトーではその環境とどう関わるかを自他ともに明確に規定し、企業の持続的成長への根幹となる行動をCSR活動と位置付けています。サトーが理想として追求していることは、サトーの事業そのものが社会や環境に溶け込み、価値を創造し、その成果物を株主、社員、社会、会社の四者で分かち合うことです。（「四者還元」）。株主、社員、社会、会社を「環」とし、サトーの事業活動を通して四者が成果を享受すること、これが「サトーの環」です。



TOPICS

■交通安全シールを地域の新入学児童へ寄贈

北上工場では、市内の新入学児童へ、通学の安全を守るため、ランドセルのカバーに貼る交通安全シール（反射材）を寄贈しました。

この活動は、「本業を活かした取り組み」としてアイデアを募集したところ、社員より提案され実施したものです。



■ゴールドリボン・ネットワークへの支援

2010年度より、ゴールドリボン・ネットワークの賛助会員として小児がん克服に向けての活動を支援しています。入院患者用のリストバンドの収益の一部を寄付しています。

ゴールドリボンとは、小児がんへの理解と支援の広がりをお願いする世界共通のシンボルマークです。



■被災地への支援活動

東日本大震災を受け、社員から被災者のために何かしたいという声が多く寄せられ、本社の目黒ナレッジプラザでは救援物資を受け付け、特定非営利活動法人セカンドハーベスト・ジャパンを通じて被災地へ届けられました。

会社としても義援金や救援物資をお届けしました。

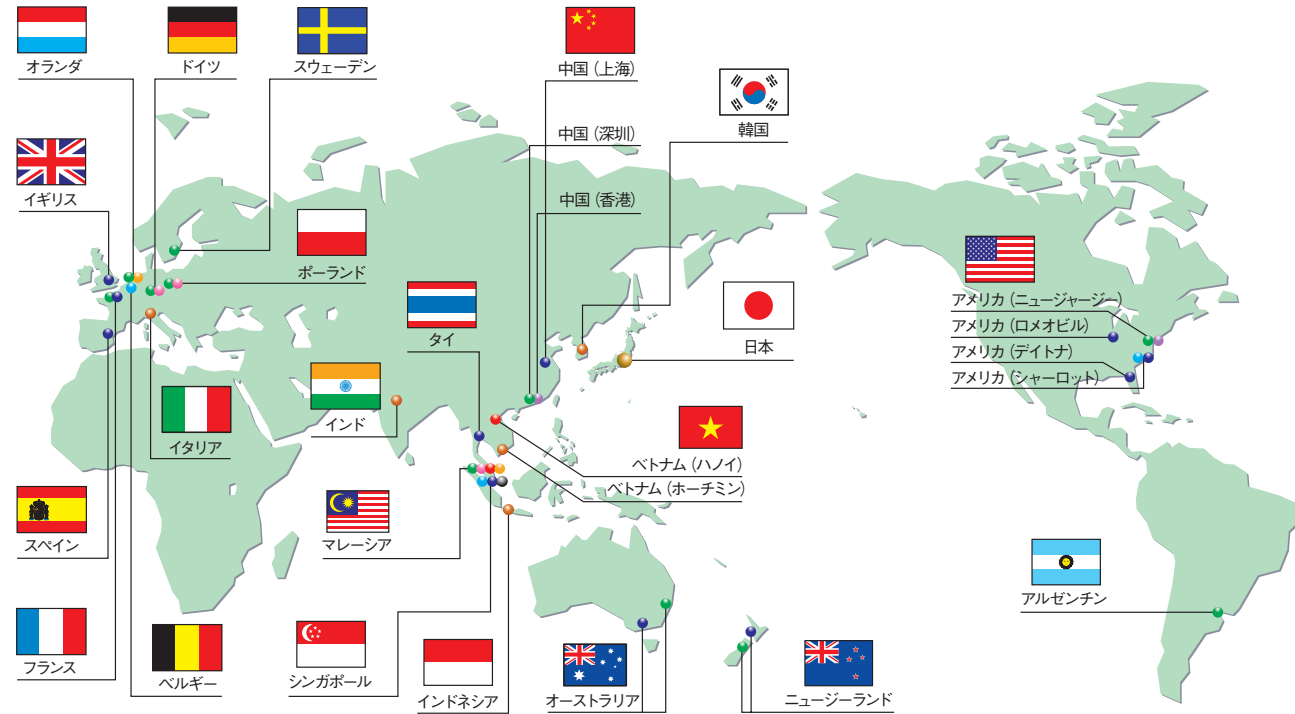


●少子化や次世代育成の社会問題に向き合い、2010年12月育児支援制度を拡充しました。

- 1 短時間勤務を取得できる期間を、小学校3年生修了までから小学校6年生修了までに延長**
- 2 出産祝金を10,000円から200,000円に増額**
社員本人の出産と、出産する配偶者が被扶養者の場合
- 3 育児休業中の社員の収入を保障**
法定を超える満1歳から満3歳までの間、育児休業中の社員に「育児休業延長給付金」として、標準報酬月額額の50%を支給します。
- 4 情報交流サイトの開設**
育児中の社員や育児休業中の社員のうち希望者を対象とした、互いに交流し合えるWebサイトです。



グループネットワーク



- 本社 / Head Office
- 地域統括会社 / Regional HQ
- 営業・ラベル生産拠点 / Sales & Label Production
- 営業拠点 / Sales
- 生産拠点 / Manufacturing
- ラベル生産拠点 / Label Production
- 物流センター / Logistic Centre
- 駐在員事務所 / Representative Office
- シェアードサービスセンター / Shared Service Center
- プリントショップ / Print Shop



会社データ (2011年3月31日現在)

商号	株式会社サトー SATO CORPORATION					
本社所在地	東京都目黒区下目黒一丁目7番1号					
創業	1940年(昭和15年)					
設立	1951年5月16日(昭和26年)					
資本金	6,331,031,908円					
役員	取締役	代表取締役執行役員社長兼最高経営責任者	西田 浩一	取締役	小野 隆彦	
	代表取締役執行役員副社長兼最高執行責任者	代表取締役執行役員副社長兼最高執行責任者	土橋 郁夫	取締役	鈴木 賢	
	代表取締役執行役員副社長兼最高執行責任者	代表取締役執行役員副社長兼最高執行責任者	松山 一雄	取締役	山田 秀雄	
	取締役	取締役	藤田東久夫	取締役	田中 優子	
	取締役	取締役	脇 敏博	取締役	石黒 清子	
	取締役	取締役	鳴海 達夫			
執行役員	専務執行役員	千田 浩三	執行役員	吉井 清彦	執行役員	梅川 雷太
	専務執行役員	藤井 悦夫	執行役員	小籠智奈美	執行役員	三栖 康博
	専務執行役員	田才 進	執行役員	小籠龍太郎	執行役員	葉山 誠
	常務執行役員	山田 圭助	執行役員	熊林 知之	執行役員	渡邊 信夫
	常務執行役員	安江 大道	執行役員	西山 裕		
	常務執行役員	清原 義文	執行役員	マイク ファウラー		
	常務執行役員	宇敷 謙二	執行役員	ブライアン ラン		
	常務執行役員	櫛田 晃裕	執行役員	リム イー		
	常務執行役員	デフニ テイ	執行役員	高橋 麻子		
	常務執行役員		執行役員			
監査役	常勤監査役	米谷 真	監査役	齊藤栄太郎		
	監査役	西尾 吉典	監査役	犬塚 淳		

(注) 1. 取締役のうち小野隆彦、鈴木 賢、山田秀雄、田中優子、石黒清子の5氏は社外取締役であります。
2. 監査役のうち齊藤栄太郎、犬塚 淳の両氏は社外監査役であります。

決算期	3月31日(年1回)		
主な取引銀行	三菱東京UFJ銀行	みずほコーポレート銀行	三菱UFJ信託銀行
	三井住友銀行	日本政策投資銀行	

従業員数	連結：3,633名、単体：1,364名
売上高	連結：783億円(2011年3月期)